

大人として自覚・責任を胸に誓って

1月9日(日)、大和ふれあいセンター「シトラス」において「平成23年はたちの集い式典」が行われました。今年成人を迎えたのは平成2年4月2日〜平成3年4月1日生まれの582人です。

式典当日は、華やかな振り袖姿や、凛々しいスーツ姿の新成人469人が出席。会場付近では、旧友との久しぶりの再会に足を止め、あちこちで近況報告などの話題で談笑する新成人たちがいました。

中田市長や来賓の方々から



同級生との久しぶりの再会に会場前で記念写真を撮る新成人たち

式辞・お祝いの言葉の後、新成人の塚原伸之さん(真壁地区)、風田川翼さん(岩瀬地区)、安達知江さん(大和地区)から、それぞれ成人としての自覚や誓い、親に対する感謝の気持ちを思い思いの言葉で会場の出席者へ発表しました。

最後に新成人を代表して謝辞を述べた入江香織さん(真壁地区)からは「平和な今に深く感謝し、これからの人生に新たな希望を抱きながら笑顔をやさず日々歩んでいきたい。」と、締めくくりました。



中田市長に謝辞を述べる新成人代表の入江香織さん

新春の風物詩

はたちの集い



消防団出初式



今年一年間の防災への新たな決意

新春恒例の桜川市消防団出初式が、1月10日(月)大和ふれあいセンター「シトラス」で、市消防団・消防署など関係者約550人とポンプ車など36台が集結し盛大に行われました。

式典では、中田市長の式辞の後、永年勤続功労章などの表彰が行われ、市の防災に献身的な活躍してきた消防団員を称えました。

式典の中で、皆川光吉消防団長は、「我々、桜川市消防団は、日頃から防火・防災の思想の普及を図ると共に団員



桜川市消防団・消防署など約550人が参加して行われた出初式の様

一人ひとりが日々訓練を重ね、万が一の火災や災害に際しては団員が一致団結して任務を全うする覚悟です。」と、今年一年間の防災への決意を新たにしました。

終了後は、勇壮な分列行進と地域の安全を祈願して、上野沼(岩瀬地区)、精進沼(大和地区)、長者池(真壁地区)の市内3か所で一斉放水が行われました。

消防出初式の歴史は、江戸時代の1659年に遡り、上野東照宮前で行われたのが始まりと伝えられています。



精進沼(大和地区)で行われた一斉放水の様